

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																																						
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																						
																																											
18	□	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9			6	7								12	13.3	14	15																					
19	□	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】今後、ホームページなどで具体的な取り組みを報告していく予定																12.6																							
20	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】旅館の運営を化石燃料に頼らないエネルギーに少し簡転換していく計画を策定中である							7.2										13																						
21	□	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】木材等のリユースを目標とした事業計画を策定中																	12.2	13	14	15																			
22	□	【汚職・贈収賄防止】 ・ 汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	汚職や贈賄を禁止し、社内規定に明記、行動規範を整備し、社内で徹底している。																				16	16.5																		
23	□	【公正な競争】 ・ 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	不正競争行為を禁止し、社内規定に明記、行動規範を整備し、徹底している。																					16																		
24	□	【知的財産保護】 ・ 知的財産の保護に取り組んでいる	基本	【予定】特許・知的財産等の取得・管理を進める										8.2	8.3	9																											
25	□	【個人情報保護】 ・ 個人情報を適切に管理している	基本	個人情報保護の社内基本方針を制定し、社内研修による情報管理ルールの徹底を図っている																					16																		
26	□	【紛争鉱物】 ・ 紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																							16																	
27	□	【サプライチェーン管理】 ・ サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ						5						8				10		12	13	14	15	16	17																	
28	□	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	サービスの提供時のリスクを想定し、社内に周知をしながらお客様に安全に利用してもらうための方法を社内ミーティングなどで話し合い取り入れている								3.9														12.4																	
29	□	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	アンケートなどによるお客様からの意見を取り入れ、より良いサービスの提供を心がけている。また社員からの意見を積極的に取り入れりため、他人気宿泊施設の視察などを積極的に推奨している。																						9																	
30	□	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ											6								12	13	14	15																		
31	□	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ																								1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）